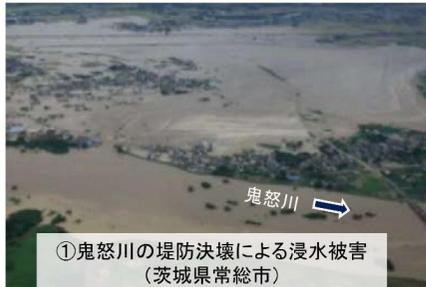


岩手県の「流域治水」の 取組について

岩手県県土整備部河川課
令和8年2月4日

○ 近年の気候変動の影響により、全国各地で水災害が激甚化・頻発化

【平成27年9月関東・東北豪雨】



①鬼怒川の堤防決壊による浸水被害
(茨城県常総市)

【平成28年8月台風第10号】



②小本川の氾濫による浸水被害
(岩手県岩泉町)



③空知川の堤防決壊による浸水被害
(北海道南富良野町)

【平成29年7月九州北部豪雨】



④赤谷川における浸水被害
(福岡県朝倉市)

【平成30年7月豪雨】



⑤小田川における浸水被害
(岡山県倉敷市)



⑥肱川における浸水被害
(愛媛県大洲市)

【令和元年東日本台風】



⑦千曲川における浸水被害
(長野県長野市)

【令和2年7月豪雨】



⑧球磨川における浸水被害
(熊本県人吉市)

【令和3年8月の大雨】



⑨池町川における浸水被害
(福岡県久留米市)

【令和4年8月の大雨】



⑩最上川における浸水被害
(山形県大江町)

【令和5年7月の大雨】



⑪太平川における浸水被害
(秋田県秋田市)

【令和6年9月の大雨】



⑫塚田川における人家流失・流木阻害
(石川県輪島市)



出典：令和8年度 水管理・国土保全局関係予算概算要求概要

令和2年までの10年間、1回も水害、土砂災害が発生しなかった市町村は、わずか41。水災害は国民全員に関係し、これからリスクがますます高まろうとしています。そのため、ハード整備の加速に加え、国・都道府県・市町村・企業等の流域のあらゆる関係者が水害リスクを踏まえたまちづくり・住まいづくり、貯留・浸透機能の向上等を推進していくことが重要です。



10年間で、水害・土砂災害が1回以上発生した市町村の数

1700 全市町村数:1741

発生件数	市町村数	全国の市町村における10年間の水害、土砂災害の発生件数(平成23年~令和2年) <small>出典:水害統計(国土交通省)</small>
■ 10回以上	:1005	
■ 5-9回	:427	
■ 1-4回	:268	
□ 0回	:41	

気候変動により、これから洪水発生が増えることが懸念されている。

表:降雨量変化倍率をもとに算出した、流量変化倍率と洪水発生頻度の変化

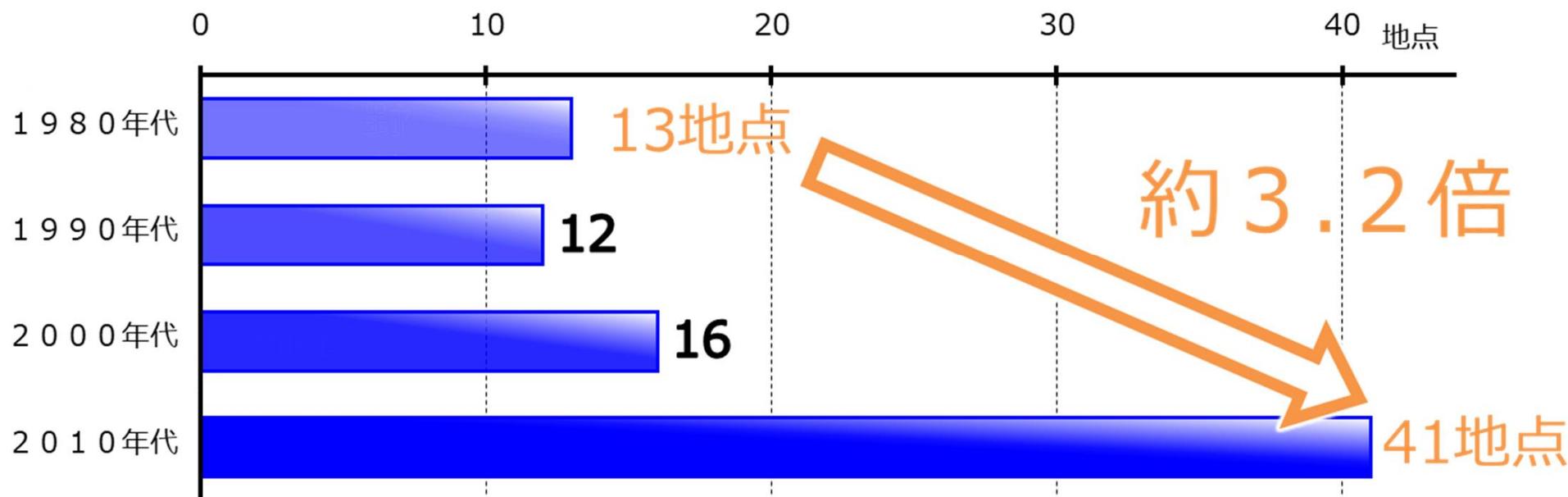
気候変動シナリオ	降雨量	流量	洪水発生頻度
2℃上昇時	約1.1倍	約1.2倍	約2倍
4℃上昇時	約1.3倍	約1.4倍	約4倍

六角川(佐賀県武雄市)の状況:令和3年8月

出典:国土交通省資料

○ 岩手県においても短時間強雨の発生頻度が増加傾向

▼ 岩手県内で1時間雨量50mm以上が発生した地点数（国土交通省集計）



※ 1980年から2019年において継続的に観測が実施されている岩手県内のアメダス雨量観測地点38地点を対象に集計

○ 令和5年度、岩手県で1時間降水量と3時間降水量の東北地方歴代1位を記録

▼ 1時間降水量 東北地方歴代観測順位 (mm)

順位	県名	所在地	地点名	降水量	年月日	備考
1位	岩手県	下閉伊郡岩泉町	小本	124.5	2023/8/13	令和5年台風第7号
2位	山形県	酒田市	酒田大沢	112.5	2018/8/5	
3位	秋田県	鹿角市	鹿角	108.5	2013/8/9	
4位	岩手県	盛岡市	薮川	99.5	2024/8/27	令和6年8月27日からの大雨
5位	福島県	南会津郡南会津町	南郷	99.5	2023/8/18	
6位	岩手県	紫波郡紫波町	紫波	95.5	2015/6/16	
7位	岩手県	下閉伊郡普代村	普代	95	2019/10/13	令和元年東日本台風
8位	宮城県	石巻市	雄勝	95	2005/10/22	
9位	秋田県	北秋田市	阿仁合	94.5	2024/7/25	令和6年7月25日からの大雨
10位	福島県	白河市	白河	94.5	2019/7/24	

▼ 3時間降水量 東北地方歴代観測順位 (mm)

県名	県名	所在地	地点名	降水量	年月日	備考
1位	岩手県	下閉伊郡岩泉町	小本	304.5	2023/8/13	令和5年台風第7号
2位	岩手県	下閉伊郡普代村	普代	236.5	2019/10/13	令和元年東日本台風
3位	秋田県	鹿角市	鹿角	229	2013/8/9	
4位	岩手県	宮古市	宮古	211.5	2019/10/13	令和元年東日本台風
5位	宮城県	伊具郡丸森町	筆甫	211.5	2019/10/12	令和元年東日本台風
6位	岩手県	盛岡市	薮川	193	2024/8/27	令和6年8月27日からの大雨
7位	岩手県	下閉伊郡山田町	山田	186.5	2019/10/13	令和元年東日本台風
8位	山形県	酒田市	酒田大沢	183.5	2018/8/5	
9位	秋田県	北秋田市	阿仁合	183	2024/7/25	令和6年7月25日からの大雨
10位	岩手県	久慈市	下戸鎖	170	1999/10/28	

治水行政を取り巻く状況④

○ 岩手県内でも気候変動の影響により水災害が激甚化・頻発化

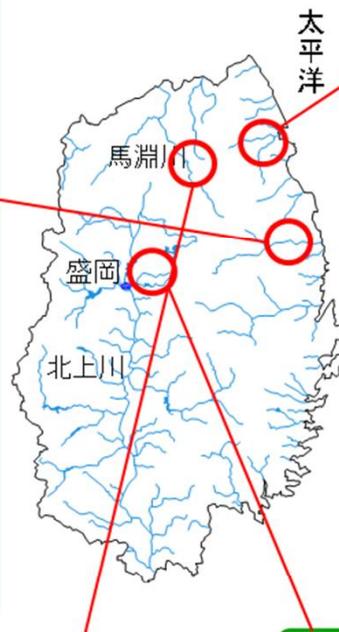
平成28年8月台風第10号

実績雨量 70.5mm/時間(岩泉雨量局・**既往最大**)
 家屋浸水 全県で2,102戸(うち全壊114、半壊250、床上1,763)

観測史上初めて岩手県に上陸、各地で甚大な被害



小本川(岩泉町乙茂)



令和元年10月東日本台風

実績雨量 71mm/時間(久慈雨量局・**既往最大**)
 家屋浸水 全県で602戸(うち床上279)

短時間の強い降雨による市街地の溢水、内水被害



小屋畑川(久慈市長内)

令和4年8月豪雨

実績雨量 42.5mm/時間(奥中山雨量局・**既往最大**)
 家屋浸水 全県で38戸(うち床上12)

一戸町では、平成18年、平成23年に続く溢水被害



馬淵川(一戸町向町)

馬淵川(一戸町関屋)

令和6年8月豪雨

実績雨量 99.5mm/時間(藪川(気)観測所・**既往最大**)
 家屋浸水 全県で20戸(うち床上9)

線状降水帯発生、局地的大雨による溢水被害



米内川(盛岡市上米内)

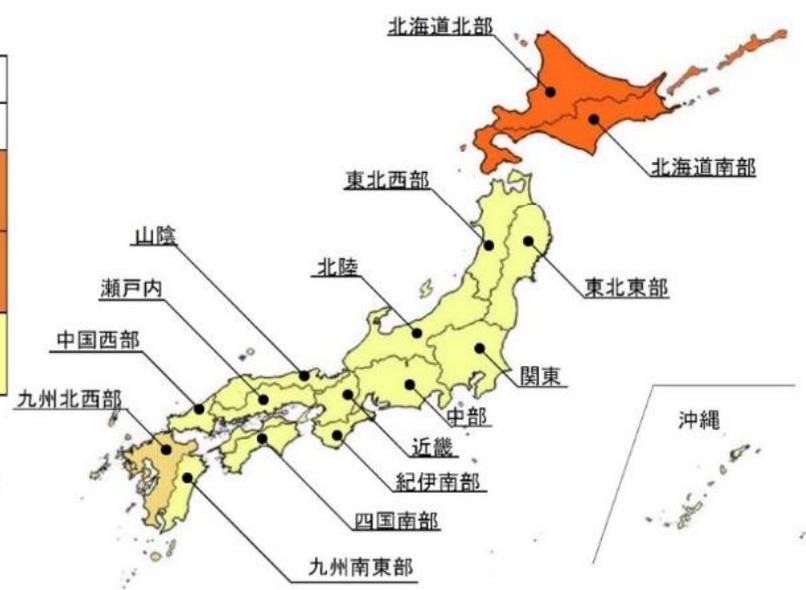
気候変動を踏まえた治水計画のあり方 提言 改訂版【概要】 <気候変動に伴う降雨量や洪水発生頻度の変化>

- 降雨特性が類似している地域区分ごとに将来の降雨量変化倍率を計算し、将来の海面水温分布毎の幅や平均値等の評価を行った上で、降雨量変化倍率を設定。
- 2℃上昇した場合の降雨量変化倍率は、北海道で1.15倍、その他(沖縄含む)地域で1.1倍、4℃上昇した場合の降雨量変化倍率は、北海道・九州北西部で1.4倍、その他(沖縄含む)地域で1.2倍とする。
- 4℃上昇時には小流域・短時間降雨で影響が大きいいため、別途降雨量変化倍率を設定する。

<地域区分毎の降雨量変化倍率>

地域区分	2℃上昇	4℃上昇	
			短時間
北海道北部、北海道南部	1.15	1.4	1.5
九州北西部	1.1	1.4	1.5
その他(沖縄含む)地域	1.1	1.2	1.3

- ※ 4℃上昇の降雨量変化倍率のうち、短時間とは、降雨継続時間が3時間以上12時間未満のことで3時間未満の降雨に対しては適用できない
- ※ 雨域面積100km²以上について適用する。ただし、100km²未満の場合についても降雨量変化倍率が今回設定した値より大きくなる可能性があることに留意しつつ適用可能とする。
- ※ 年超過確率1/200以上の規模(より高頻度)の計画に適用する。



<参考>降雨量変化倍率をもとに算出した、流量変化倍率と洪水発生頻度の変化の一級水系における全国平均値

気候変動シナリオ	降雨量	流量	洪水発生頻度
2℃上昇時	約1.1倍	約1.2倍	約2倍
4℃上昇時	約1.3倍	約1.4倍	約4倍

- ※ 2℃、4℃上昇時の降雨量変化倍率は、産業革命以前に比べて全球平均温度がそれぞれ2℃、4℃上昇した世界をシミュレーションしたモデルから試算
- ※ 流量変化倍率は、降雨量変化倍率を乗じた降雨より算出した、一級水系の治水計画の目標とする規模(1/100~1/200)の流量の変化倍率の平均値
- ※ 洪水発生頻度の変化倍率は、一級水系の治水計画の目標とする規模(1/100~1/200)の降雨の、現在と将来の発生頻度の変化倍率の平均値(例えば、ある降雨量の発生頻度が現在は1/100として、将来ではその発生頻度が1/50となる場合は、洪水発生頻度の変化倍率は2倍となる)

○ 流域全体のあらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」



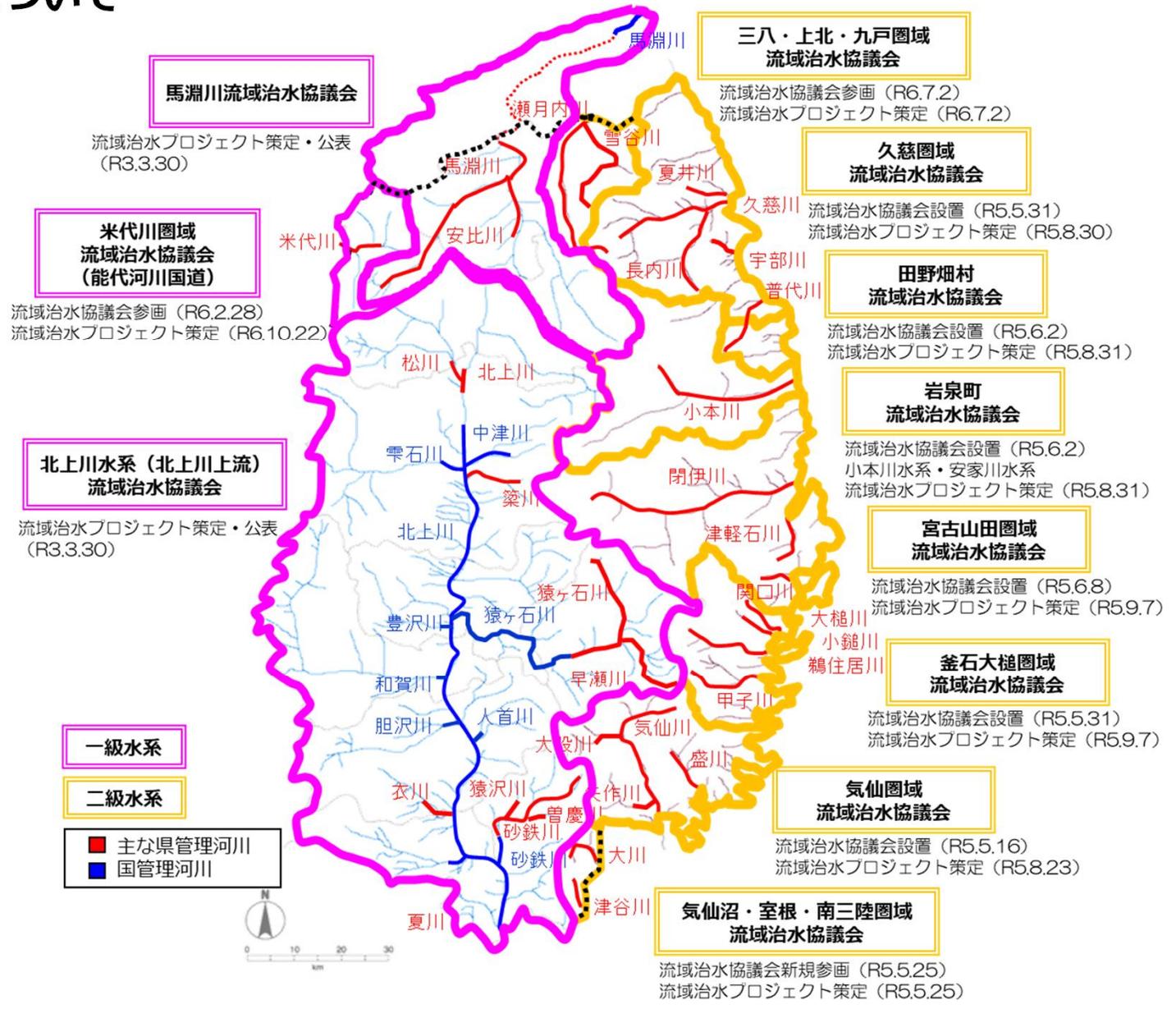
あらゆる関係者が協働して行う「流域治水」のイメージ

流域治水推進行動計画	
(1) 気候変動の影響を踏まえた治水計画や設計基準類の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 河川整備基本方針、河川整備計画等の計画の見直し 気候変動予測モデルの高度化
(2) 流域全体を俯瞰した総合的かつ多層的な対策	<p>①ハザードへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 河川堤防、下水道による雨水貯留・排水施設、砂防関係、海岸保全施設の整備、治水ダム建設・再生 治水ダムを含む既存ダムの洪水調節機能の強化 流域の雨水貯留浸透機能の向上 戦略的な維持管理 <p>②暴露への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> リスクの高い区域における土地利用・住まい方の工夫 まちづくりや住まい方の工夫に必要な土地の水害リスク情報の充実 <p>③脆弱性への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 水災害リスク情報の充実・提供 避難体制の強化 避難行動を促すための情報・伝え方 安全な避難先の確保 広域避難体制の構築 経済被害の軽減 金融・保険業界に対する水害の回避・被害軽減のための情報提供 関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化
(3) 事前防災対策の加速	<ul style="list-style-type: none"> 流域治水プロジェクト等による事前防災対策の加速化 防災まちづくりに取り組む地方公共団体を支援 農業水利施設の新技术の活用による防災
(4) 防災・減災が主流となる社会に向けた仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> 防災・減災の日常化 規制手法や誘導的手法を用いた「流域治水」の推進 経済的インセンティブによる「流域治水」の推進 流域治水の調整を行う場の設置 グリーンインフラの活用

【出典】国土交通省資料

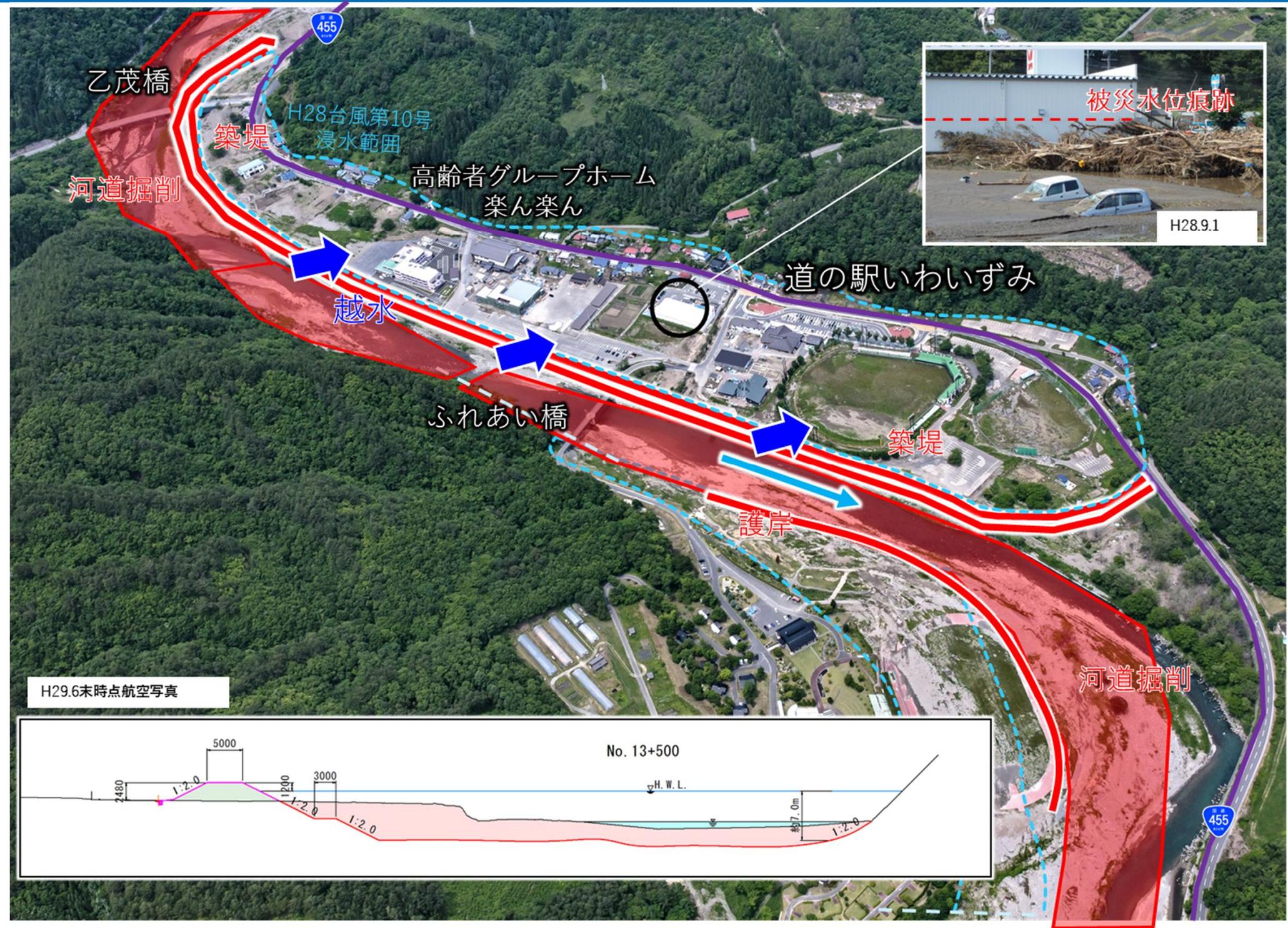
○ 流域治水の取り組み状況について

- ・ 流域治水の取組の全県展開を推進。
- ・ 令和6年10月に、全ての水系において流域治水プロジェクトの策定が完了。
- ・ 流域治水協議会を通じ各主体の取組の理解・共有を促し、関係者間の連携を図るとともに、プロジェクトのフォローアップを行う。
- ・ 流域治水に関するパネル展示等を継続し、住民へプロジェクト内容の周知等、「自分事化」を推進する。

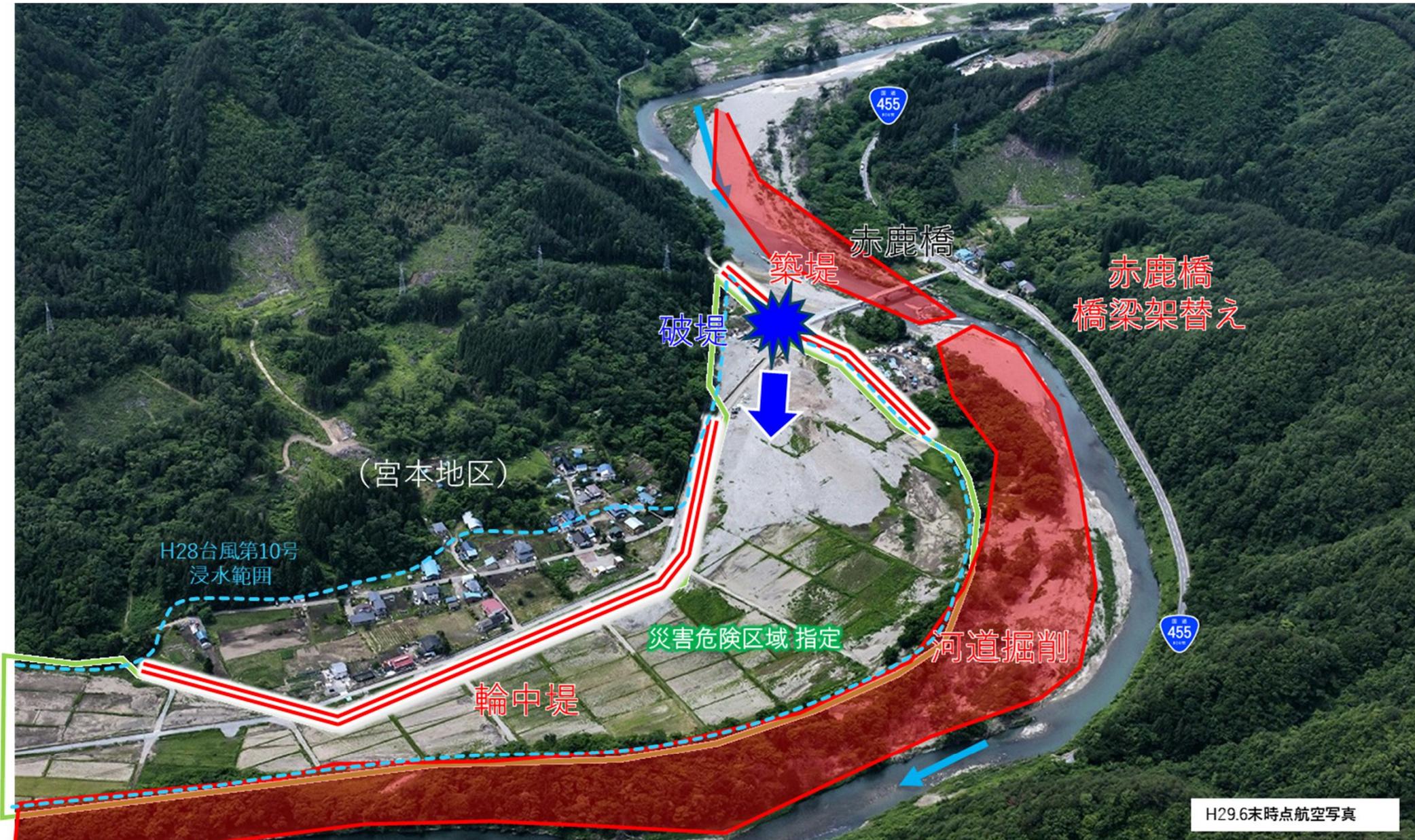


【図】 岩手県内の流域治水協議会設置状況

流域治水の取組（氾濫をできるだけ防ぐ）



流域治水の取組（被害対象を減少させる）



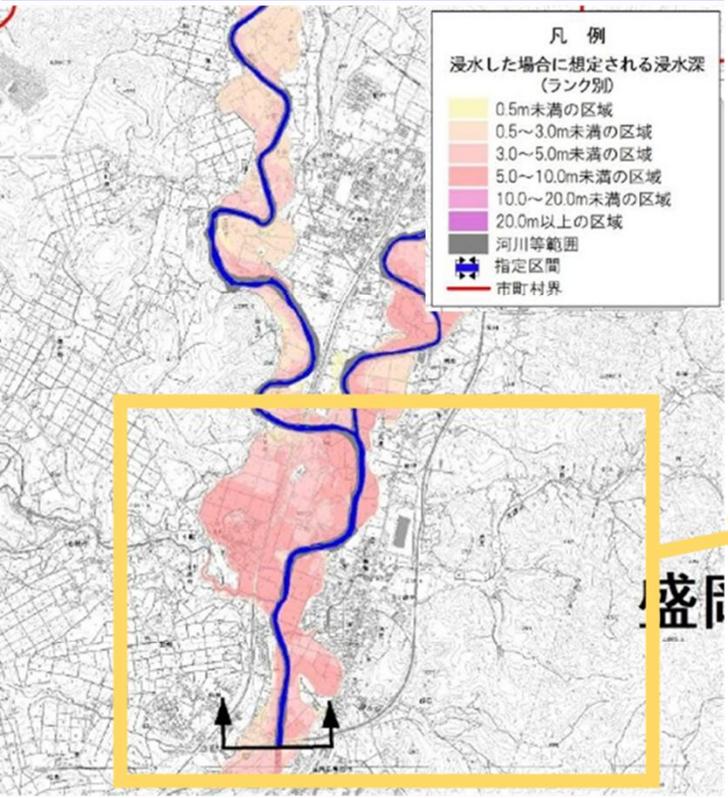


H29.6末時点航空写真

流域治水の取組（被害の軽減、早期復旧・復興）

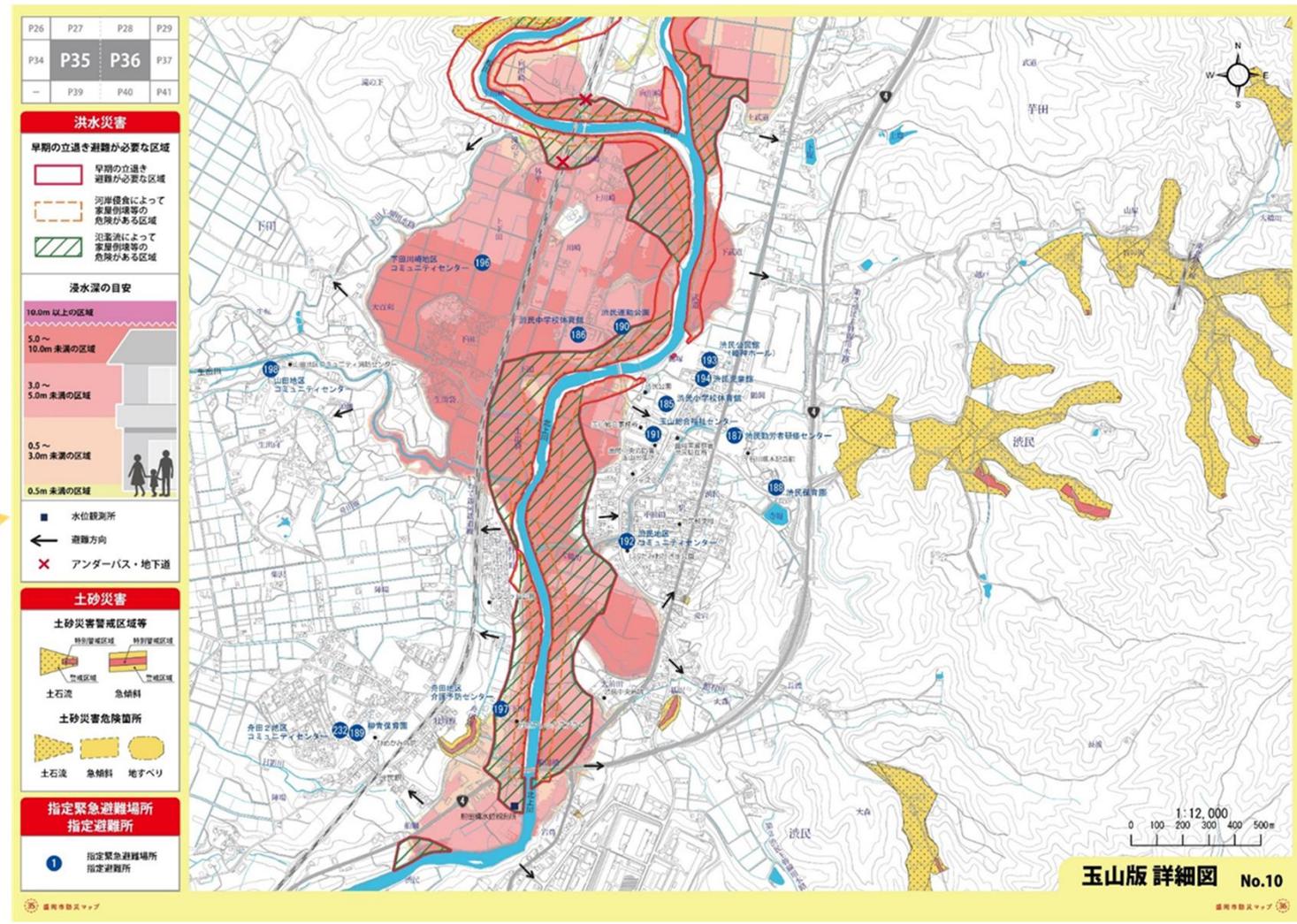
○ 想定最大規模の洪水浸水想定区域の指定について

北上川水系北上川浸水想定区域図(想定最大規模)



洪水浸水想定区域図（例：北上川（盛岡市））

※指定後は岩手県ホームページで公表



ハザードマップへの反映（例：盛岡市防災マップ）

流域治水の取組（被害の軽減、早期復旧・復興）

○ 想定最大規模の洪水浸水想定区域の指定について

洪水浸水想定区域（想定最大規模）の指定状況及び予定

〔現状〕（R7.3月末時点）

指定数 213河川（想定最大規模）

〔基本方針〕

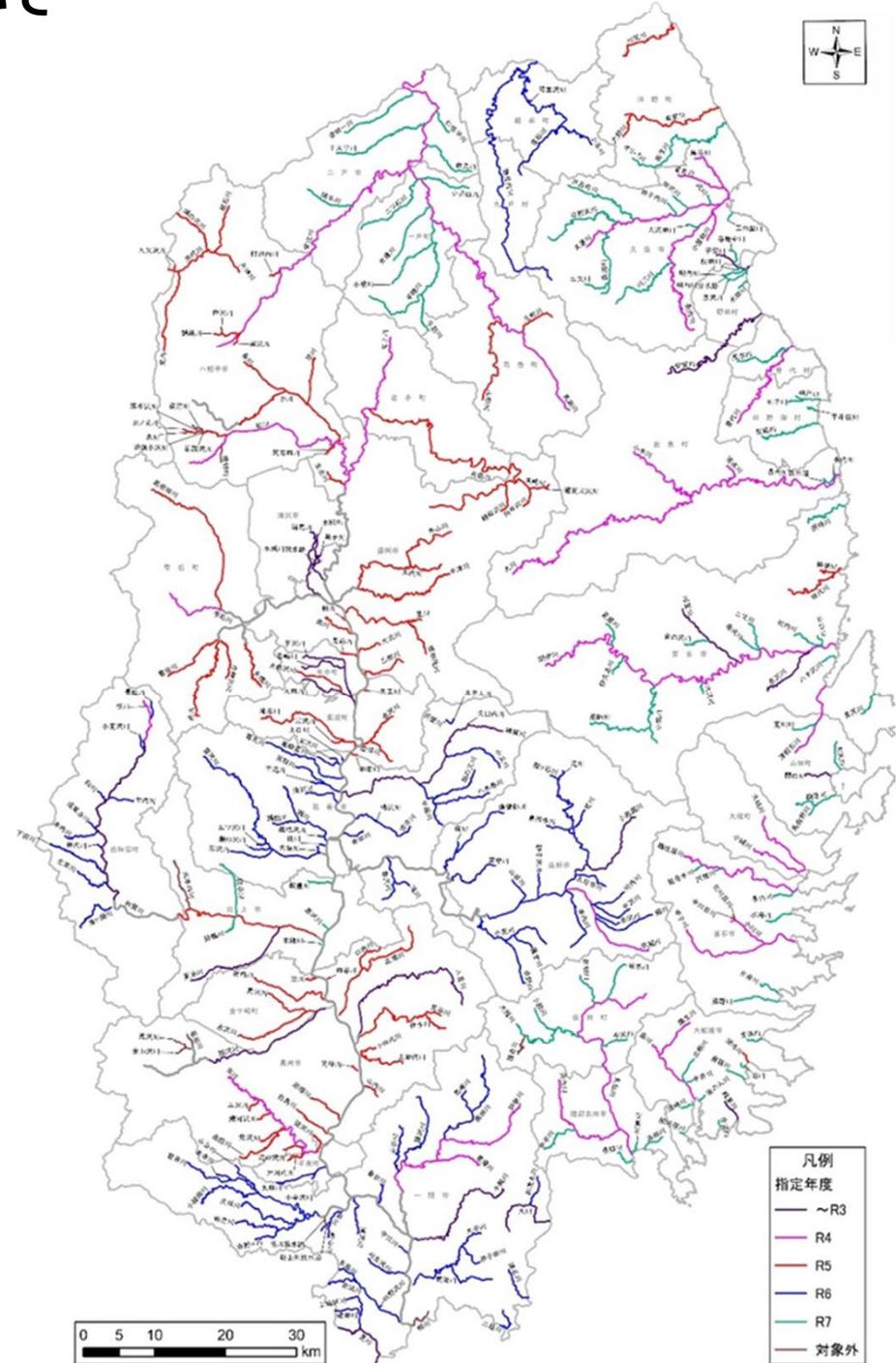
岩手県管理のうち住宅等の防御対象のある河川について、令和7年度末までに全て指定

指定状況（R7.3月末時点）

R7.3月末までに指定済	213河川	R4 30河川（横川（西和賀町）ほか） ※ うち区間見直し23河川 R5 72河川（滝名川（紫波町）ほか） ※ うち区間見直し2河川 R6 89河川（来内川（遠野市）ほか） ※ うち区間見直し4河川
R7 指定予定	82河川 （うち新規81河川 見直し1河川）	R7 82河川（山口川（宮古市）ほか）
合計	294河川	
指定不要	19河川	
県管理河川計	313河川	

〔今後の予定〕

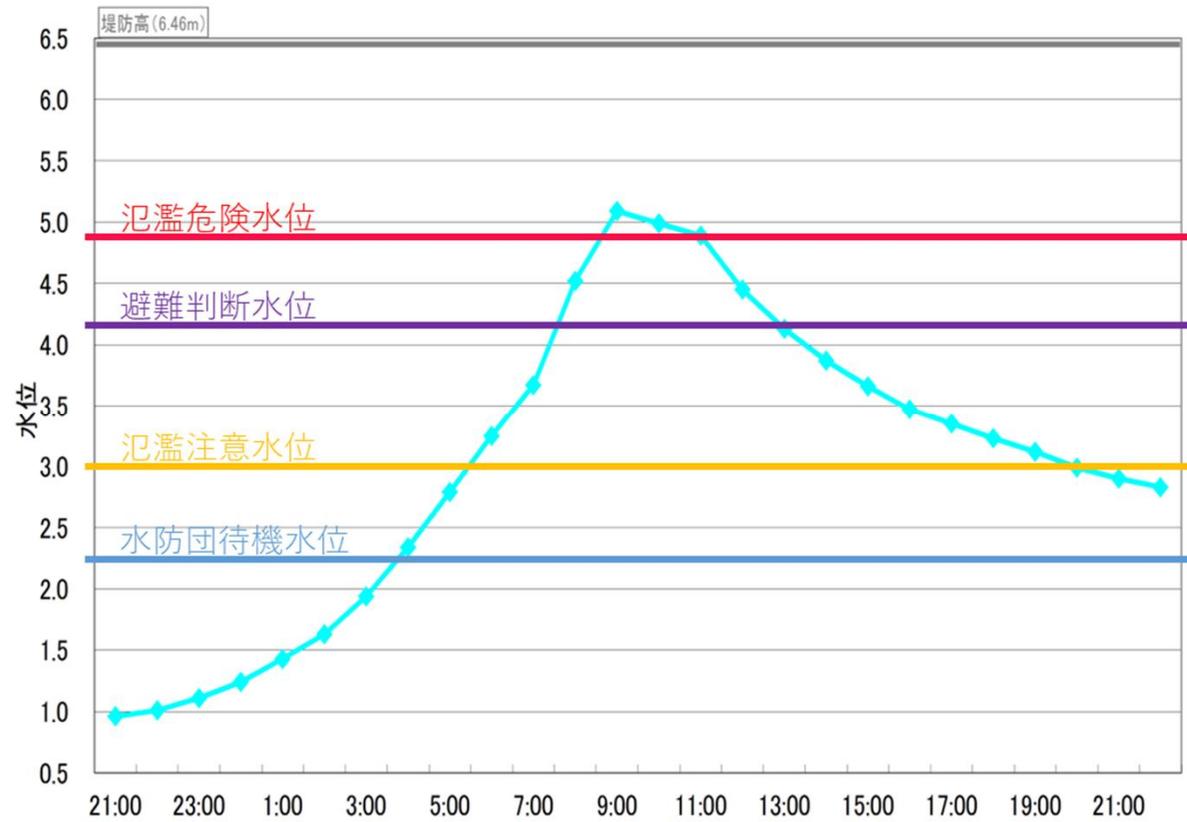
- 洪水浸水想定区域の作成にあたっては、岩手県独自の解析手法（岩手県モデル）も活用し、精度を確保しながら作業効率化を図ります。
- R8年度以降は、中小河川の家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表に向けて、大規模氾濫減災協議会にて次期計画案を示します。



流域治水の取組（被害の軽減、早期復旧・復興）

○ 水位周知河川の指定について

- 氾濫危険水位**
【警戒レベル4】
 ・市町村長発令の「避難指示」の目安
- 避難判断水位**
【警戒レベル3】
 ・市町村長発令の「高齢者等避難」の目安
- 氾濫注意水位**
【警戒レベル2】
 ・水防団の出動の目安
- 水防団待機水位**
 ・水防団の待機の目安



災害の発生を警戒すべき基準水位に到達した情報を周知する「水位周知河川」の仕組み

※河川水位のリアルタイム情報は、岩手県ホームページ「岩手県河川情報システム」で配信中

基準水位到達情報のLINEによる配信

流域治水の取組（被害の軽減、早期復旧・復興）

○ 水位周知河川の指定について

〔現状〕 (R7.5月末時点)
指定数 49河川

〔基本方針〕

- ① R4～R7の4カ年で11河川の指定
- ② 県内の防災拠点や資産集中区域をカバーするため、未指定市町村（旧市町村単位）の河川を指定
- ③ 平成28年台風第10号で甚大な浸水被害を受けた河川
- ④ 近年の洪水実績のある河川

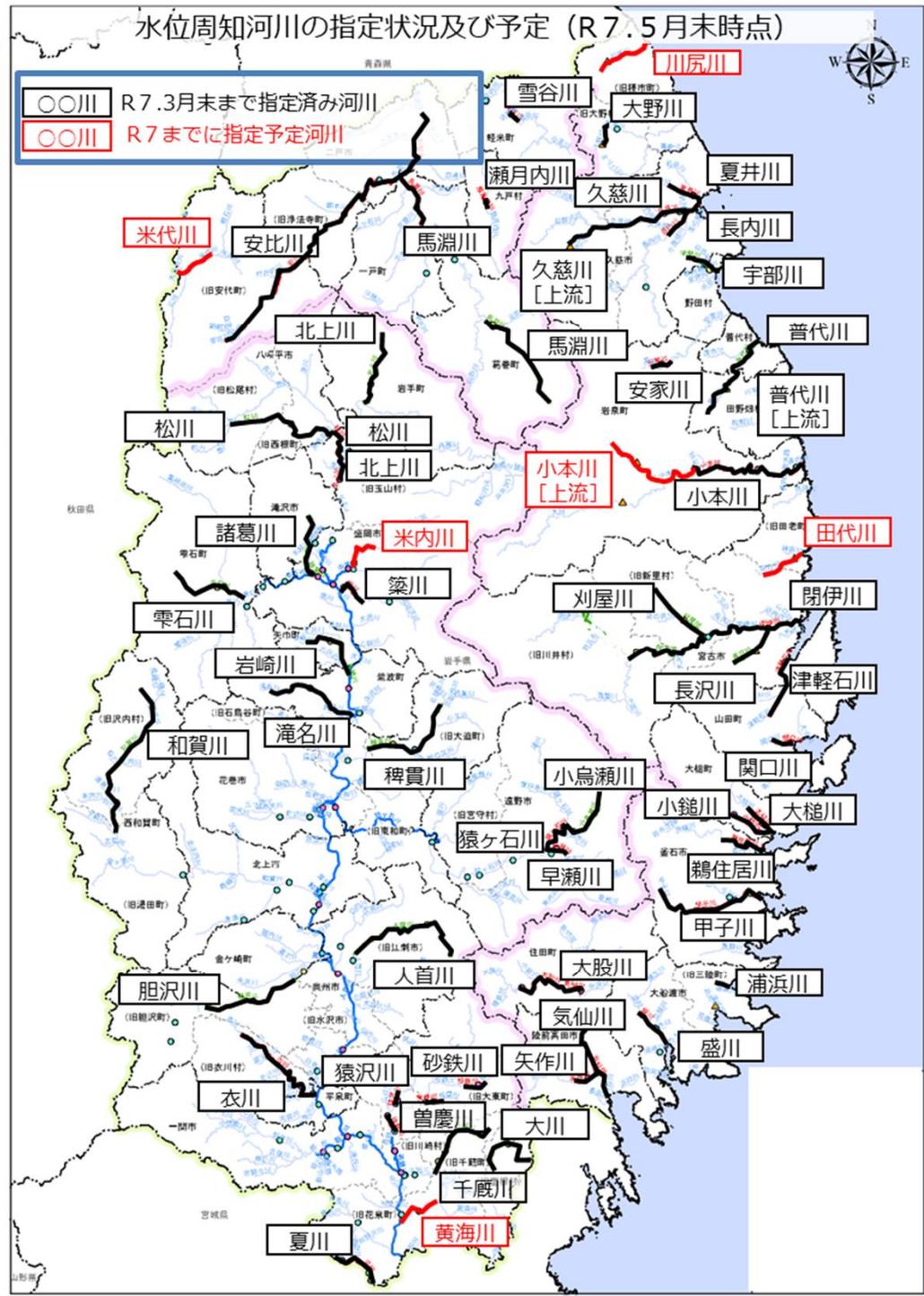
指定状況 (R7.5月末時点)

R7.3月末までに指定済	47河川	<p>R4指定 浦浜川（大船渡市） 閉伊川（宮古市）（※1）</p> <p>R5指定 久慈川[上流]（久慈市）（※1） 大野川（洋野町）</p> <p>R6指定 普代川[上流]（田野畑村）（※1） 滝名川（紫波町）</p>
R7指定予定	6河川 (うち新規5河川、 区間追加1河川)	<p>R7指定済み 米内川（盛岡市） 黄海川（一関市）</p> <p>R7指定予定 小本川[上流]（岩泉町）（※1） 田代川（宮古市） 川尻川（洋野町） 米代川（八幡平市）</p>
合計	52河川	

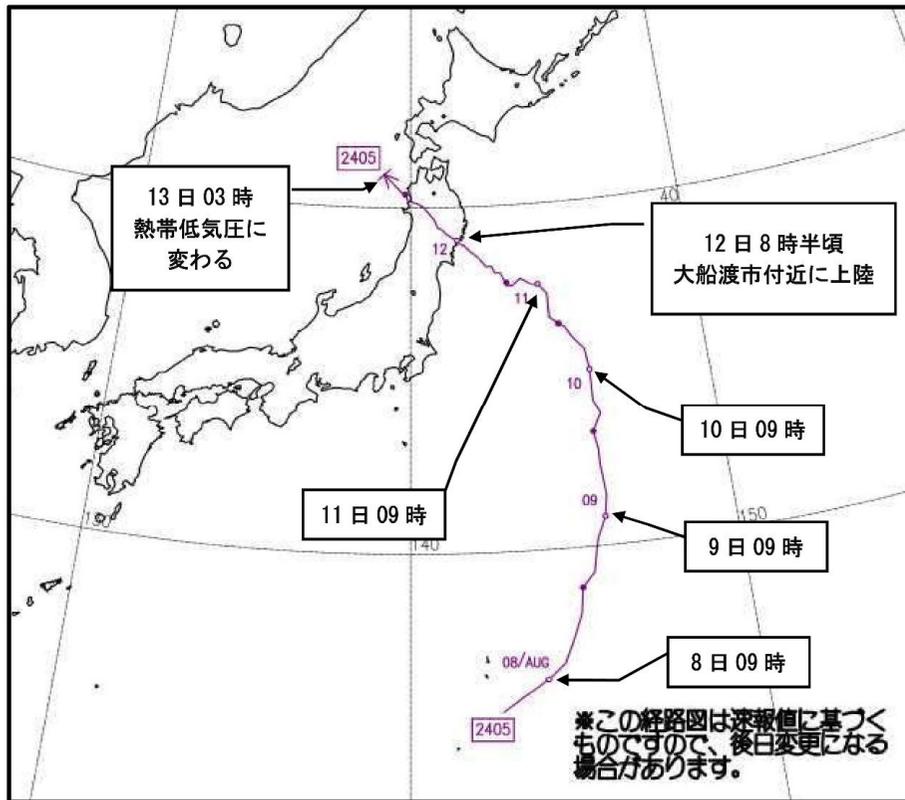
※1: R4.3月末までに河川としては指定済で、4カ年の計画では区間追加のみとなる河川

〔今後の予定〕

- ・ R8年度以降は、大規模氾濫減災協議会にて次期計画案を示します。



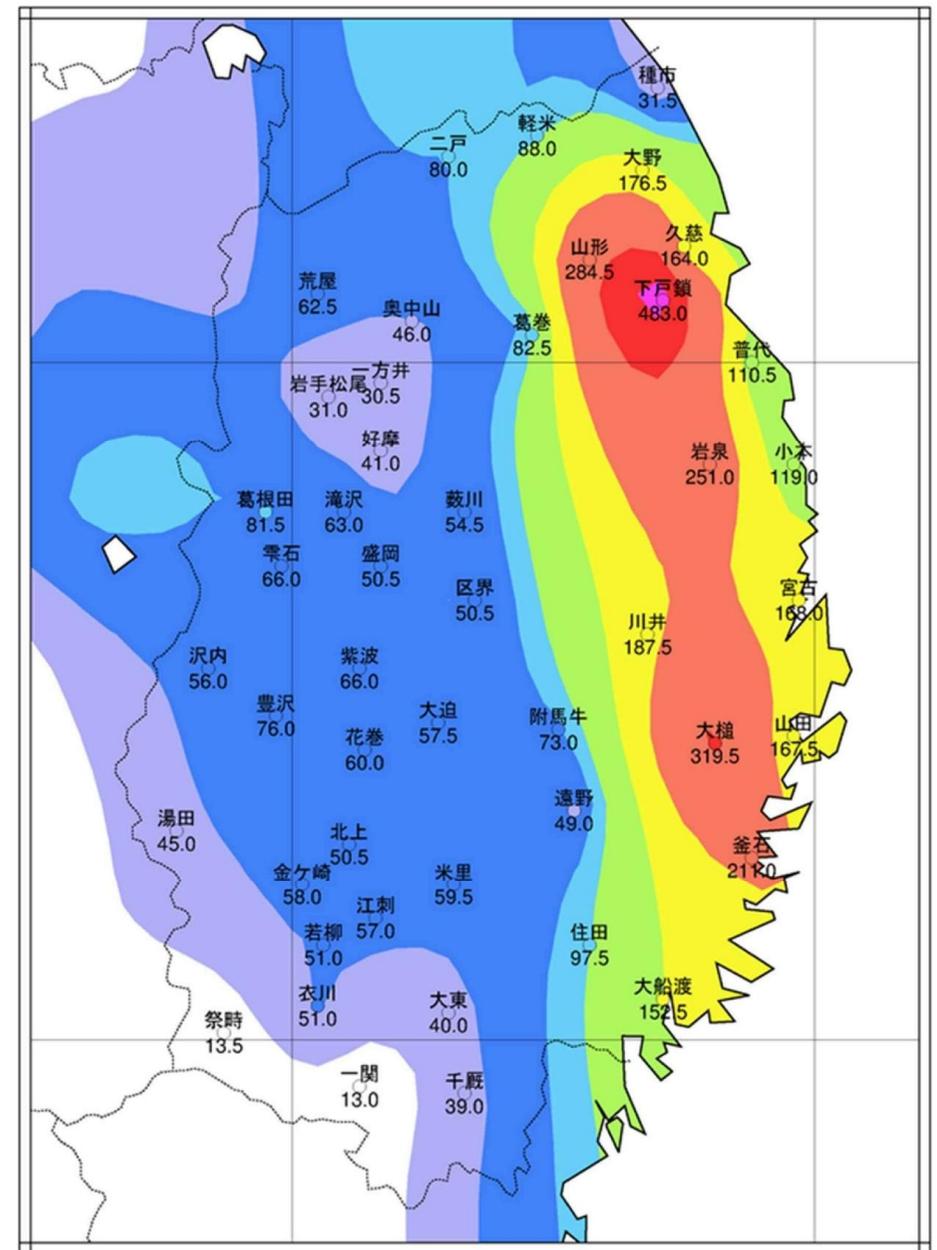
事例：令和6年台風第5号における整備効果（気象概要）



【図】 台風経路図

【表】 主な地点の総降水量（R6.8.10(土)15時～R6.8.12(月)24時）

地点	市町村	降水量	地点	市町村	降水量	地点	市町村	降水量
下戸鎖	久慈市	483.0	川井	宮古市	187.5	大船渡	大船渡市	152.5
大槌	上閉伊郡 大槌町	319.5	大野	九戸郡 洋野町	176.5	小本	下閉伊郡 岩泉町	119.0
山形	久慈市	284.5	宮古	宮古市	168.0	普代	下閉伊郡 普代村	110.5
岩泉	下閉伊郡 岩泉町	251.0	山田	下閉伊郡 山田町	167.5	住田	気仙郡 住田町	97.5
釜石	釜石市	211.0	久慈	久慈市	164.0	軽米	九戸郡 軽米町	88.0



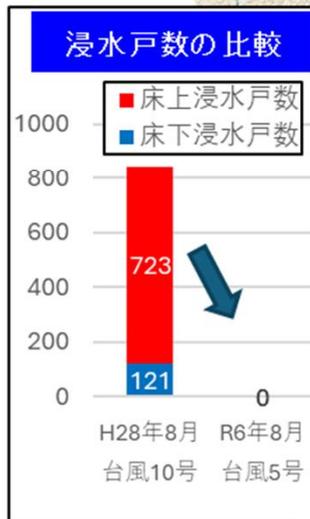
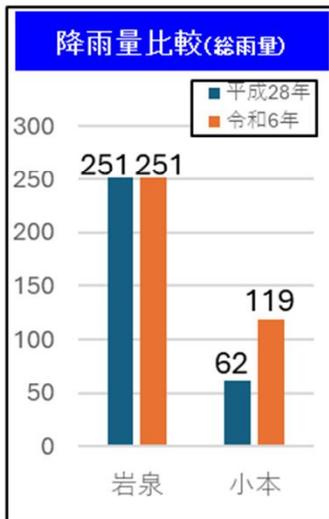
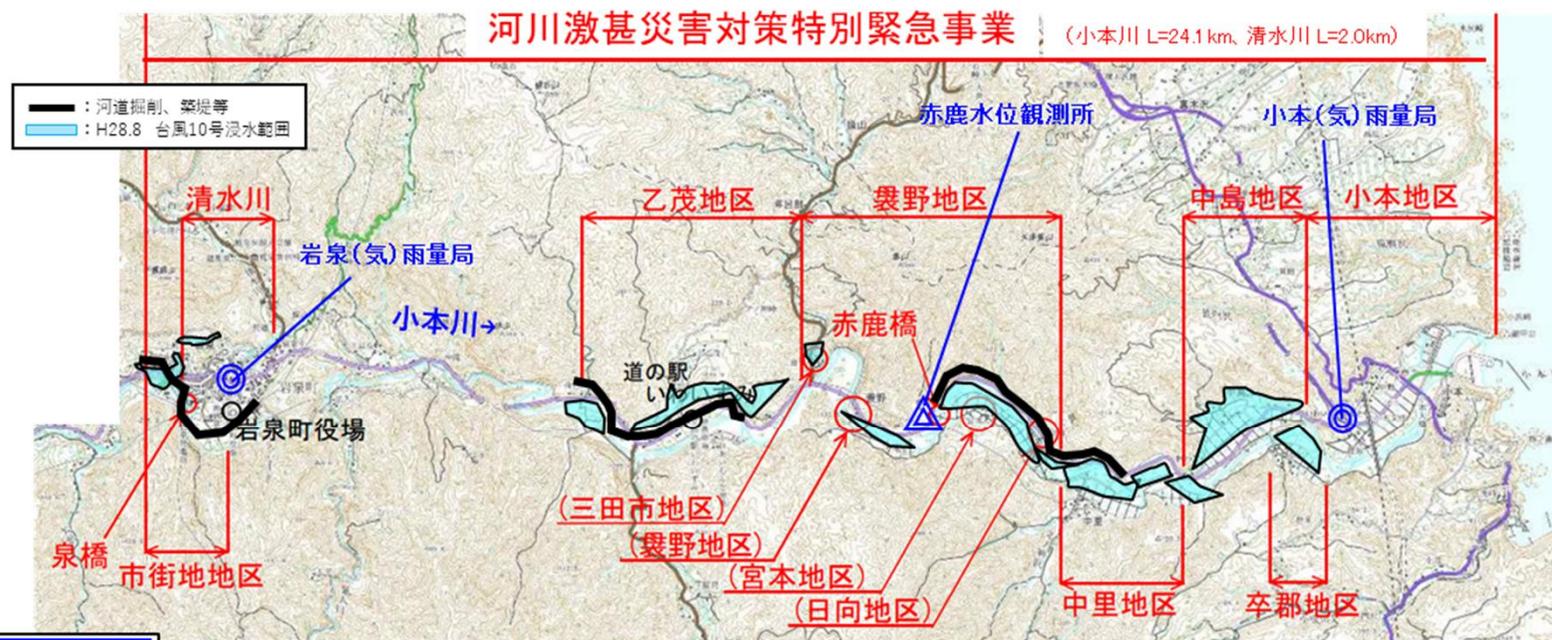
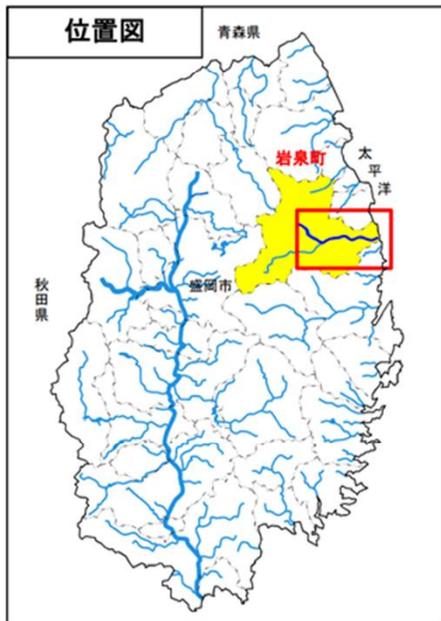
(単位: mm)

【図】 総降水量分布図（R6.8.10(土)15時～R6.8.12(月)24時）

事例：令和6年台風第5号における整備効果（小本川）

令和6年台風第5号の大雨における治水対策の効果(岩手県小本川水系小本川)

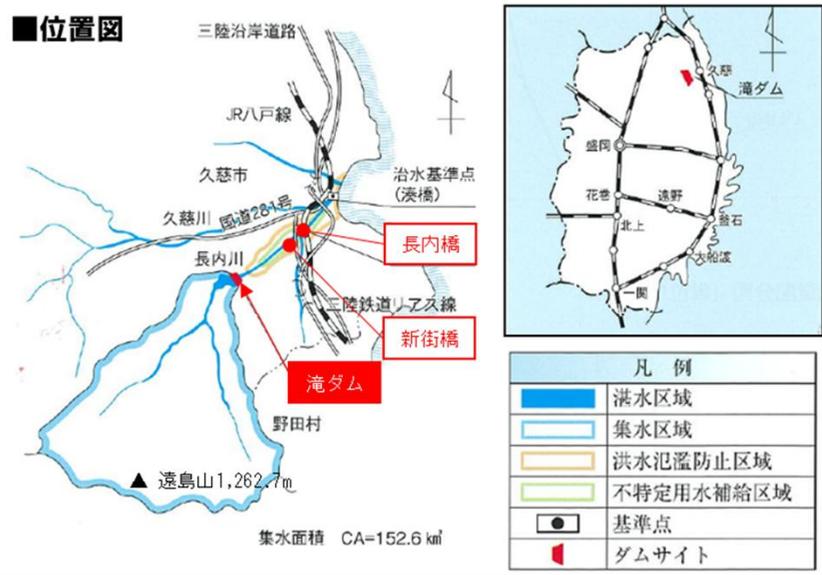
- 岩手県岩泉町の小本川では、平成28年8月の台風10号で広く越水・溢水が発生し、床上723戸、床下121戸の家屋等が浸水。
- この出水を踏まえ、河川激甚災害対策特別緊急事業等（5か年加速化予算を含む）を活用し、緊急的かつ集中的に河道掘削や築堤等の治水対策を推進。
- 今次出水（令和6年8月11日～13日）は平成28年の降雨と同規模の総雨量であったが、治水対策の進捗により河川氾濫による家屋等の浸水被害を解消。



事例：令和6年台風第5号における整備効果（滝ダム①）

二級河川久慈川水系長内川 滝ダム(岩手県久慈市)の事前放流及び洪水調節による治水効果(令和6年8月 台風第5号)

- 滝ダムでは、台風第5号による豪雨に備え、予備放流を実施し洪水調節容量600万m³を確保、さらに事前放流により約90万m³の容量を追加で確保し、洪水調節を実施した。
- 計画を上回る大雨により緊急放流に移行したものの、洪水調節により洪水のピーク時の375m³/sを295m³/sへ80m³/s(約20%)低減させるとともに、流入量の減少状況を踏まえて特別防災操作を実施し、下流河川の水位低減、洪水による浸水被害防止に効果を発揮した。
- 上記洪水調節によりピーク水位の発生時刻を約5時間遅らせ、水防活動や避難行動に要する時間を確保した。
また、事前放流の効果として、最大放流量を54m³/s抑え、緊急放流の開始時刻を約1時間遅らせた。

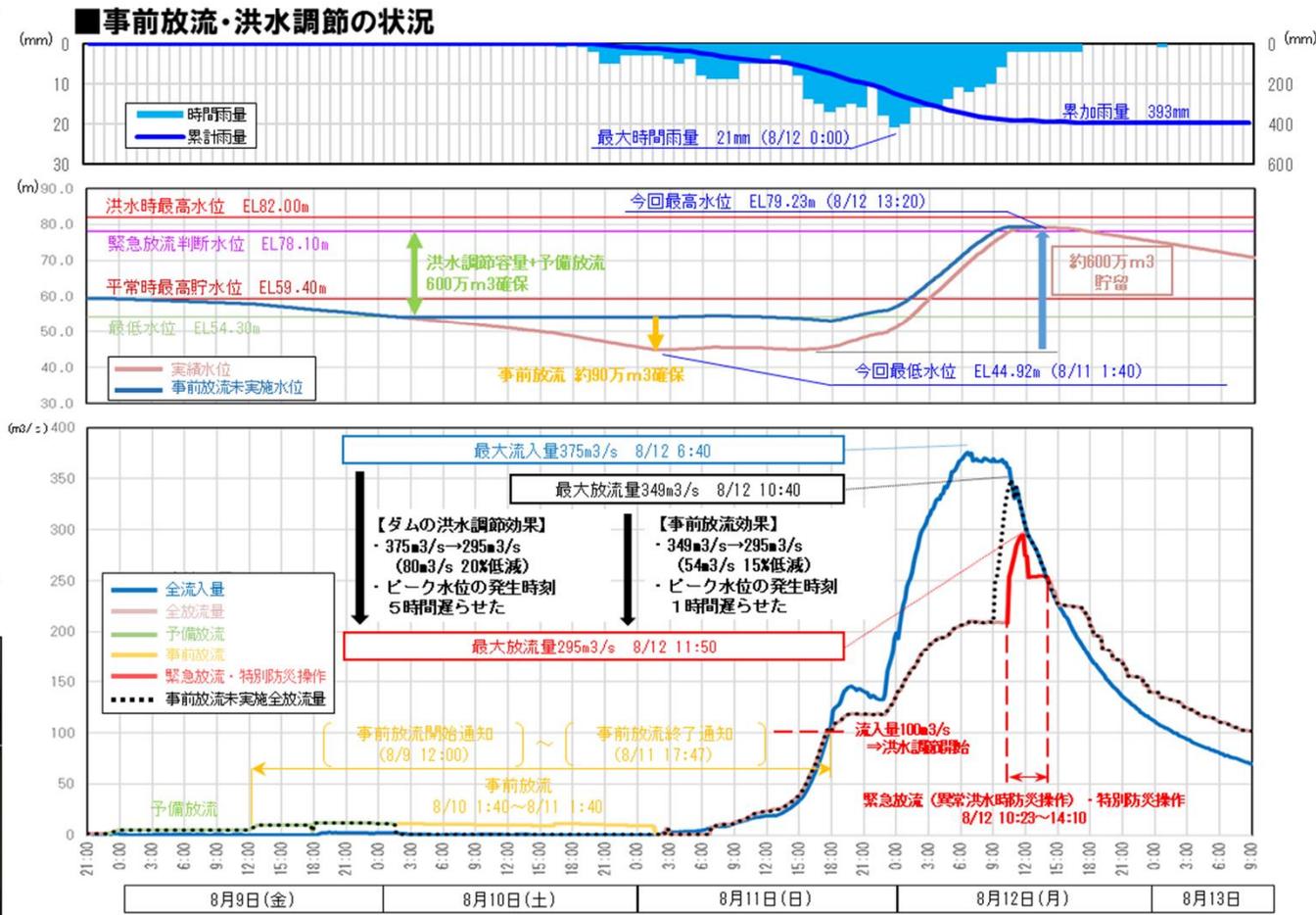


■貯水池の状況



8月11日8:30 事前放流実施後の貯水位維持

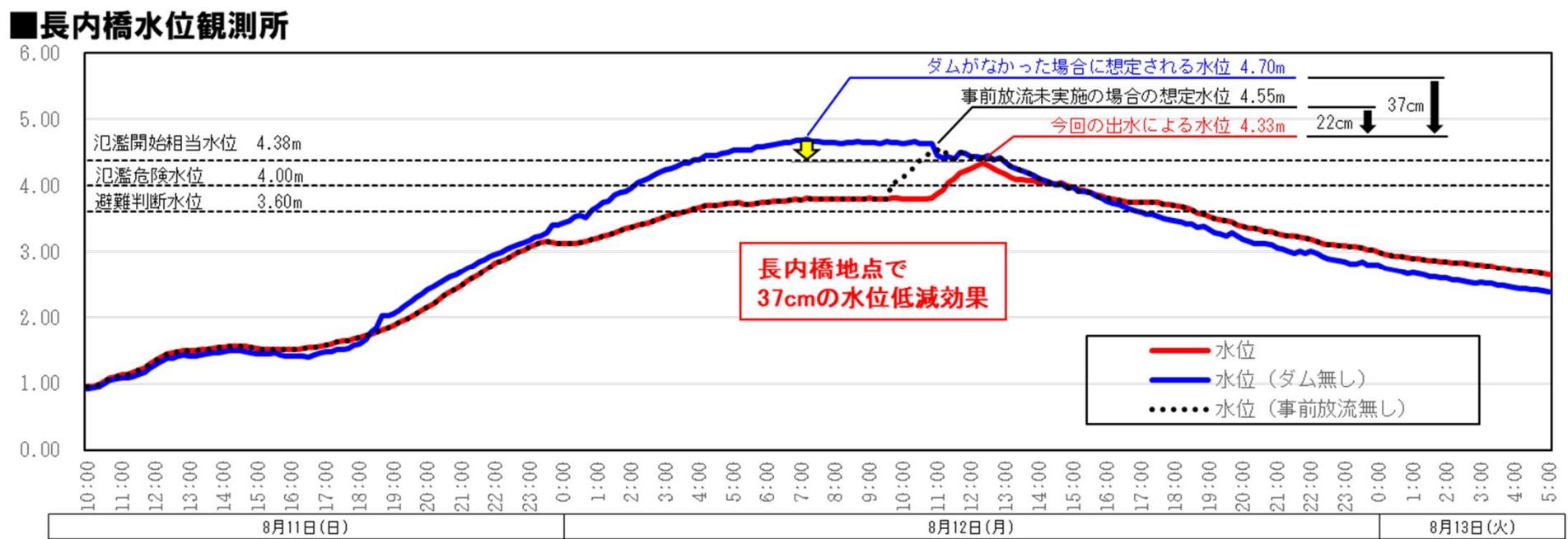
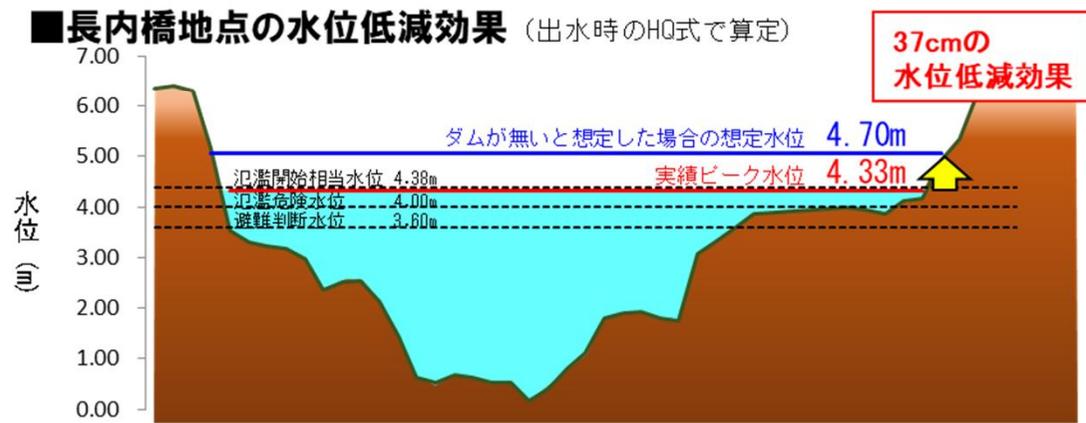
8月12日14:00 緊急放流中



事例：令和6年台風第5号における整備効果（滝ダム②）

二級河川久慈川水系長内川 滝ダム(岩手県久慈市)の事前放流及び洪水調節による治水効果(令和6年8月 台風第5号)

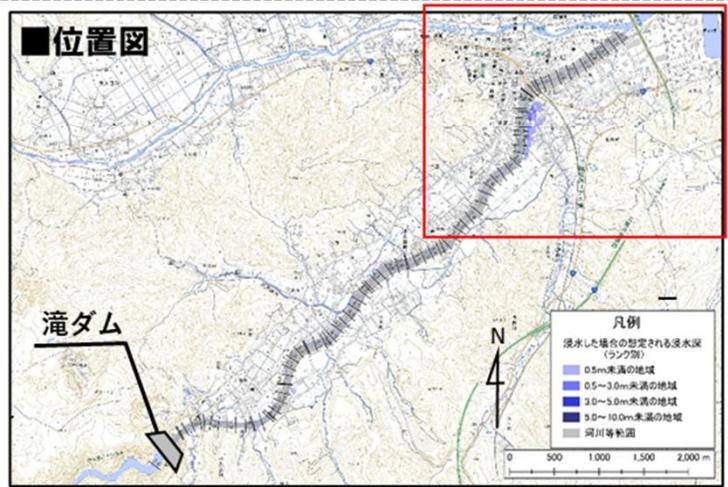
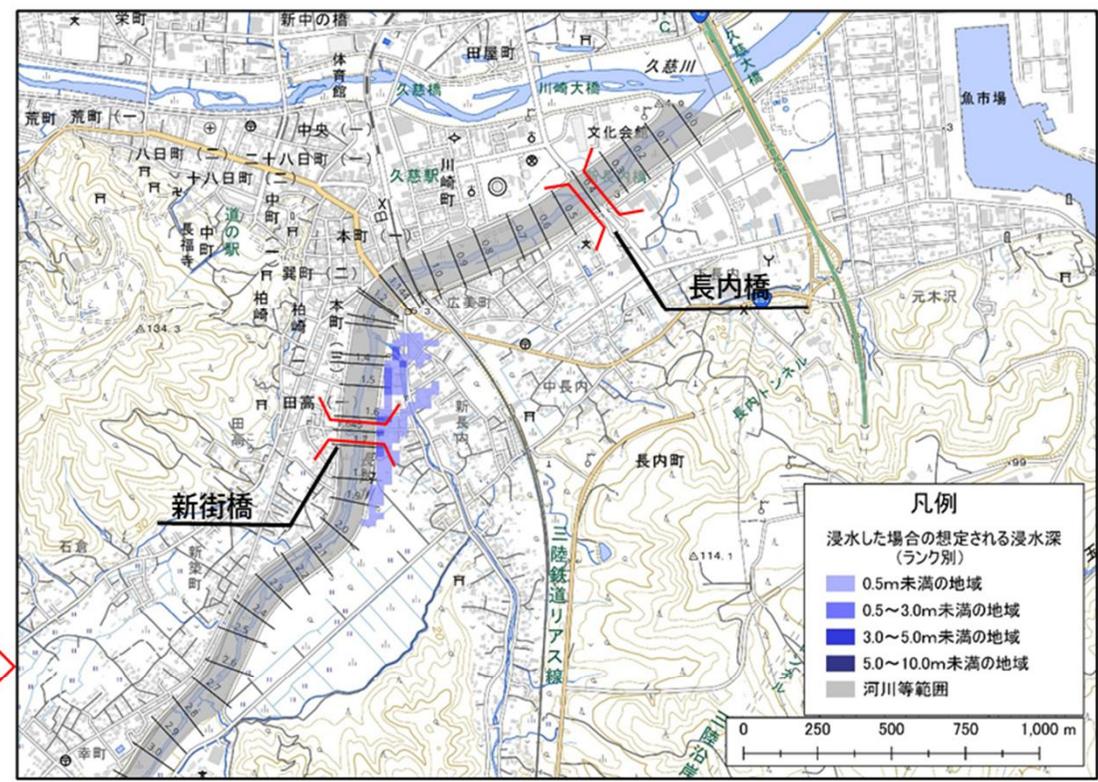
- 滝ダム下流の長内橋地点では、ダムの予備放流、事前放流及び洪水調節により、37cmの水位の低減効果があったものと推定され、河川水位を氾濫開始相当水位4.38m以下に抑えることができ、ダム下流河川の越水氾濫の防止・軽減に効果を発揮した。
- ダムがなかった場合、氾濫開始相当水位を超過していたものと推定され、事前放流未実施の場合も同様に、氾濫開始相当水位を超過していたと推定される。



事例：令和6年台風第5号における整備効果（滝ダム②）

二級河川久慈川水系長内川 滝ダム(岩手県久慈市)の事前放流及び洪水調節による治水効果(令和6年8月 台風第5号)

- 長内川の狭窄部である新街橋地点において、滝ダムの洪水調節(事前放流含む)及び河道掘削により、27cmの水位低減効果があったと推定される。(計算値)
- ダムが無く、河道掘削が実施されなかった場合における長内川の浸水被害について、氾濫解析を実施した結果、新街橋付近で氾濫が発生して浸水が広がることを確認された。(想定最大浸水深:1.37m)
- 想定される被害は、浸水面積5.5ha、被害額28億円程度である。



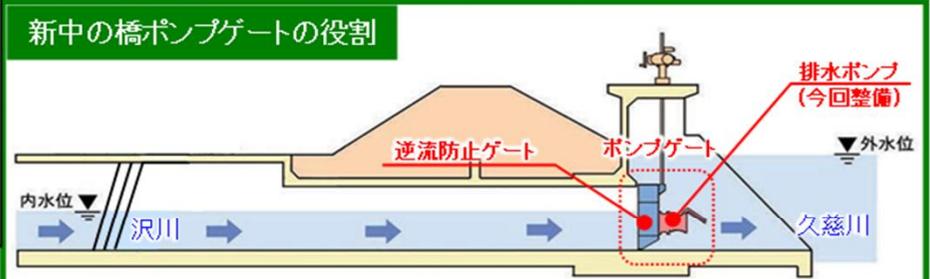
想定浸水面積： 5.5 ha
 想定被害額： 約 28 億円

※注意事項
 このシミュレーションは、計算結果に基づくものであり、実際の被害と一致しない場合があります。

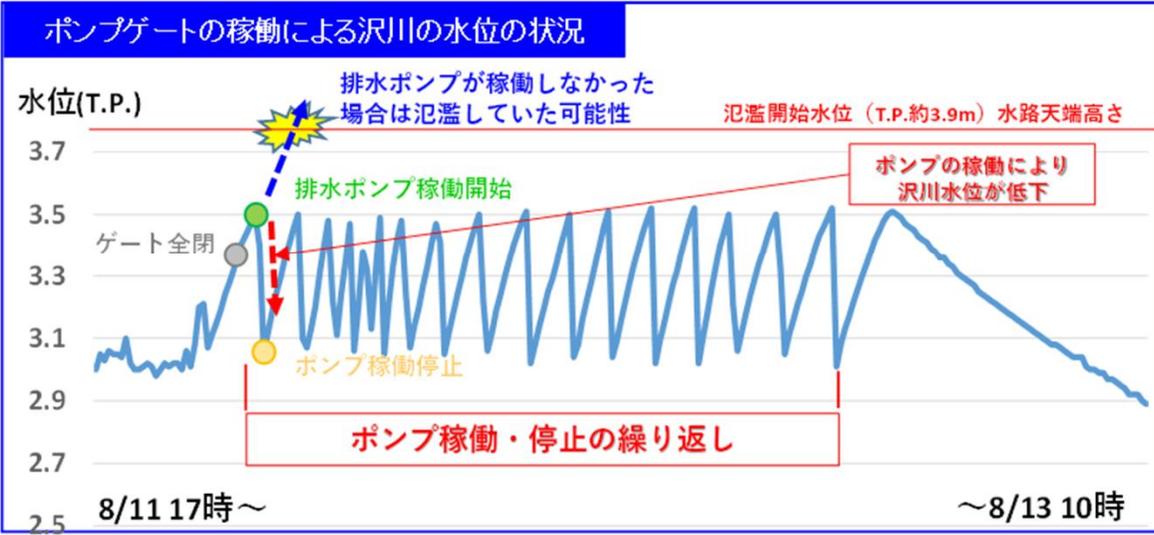
事例：令和6年台風第5号における整備効果（沢川）

令和6年台風第5号の大雨における治水対策の効果(岩手県久慈川水系沢川)

- 岩手県久慈市の沢川では、令和元年10月の台風19号により、新中の橋地区において、床上45戸、床下39戸の大規模な浸水被害が発生。
- 浸水被害を踏まえ、防災・安全交付金事業（5カ年加速化対策予算を含む）を活用し、久慈川合流部に設置されている排水樋門をポンプゲート（逆流防止ゲートに排水ポンプが設置されたもの）に改築し、令和6年6月から運用開始。
- 令和6年台風第5号では、ポンプゲートが稼働したことにより、浸水被害は発生しなかった。



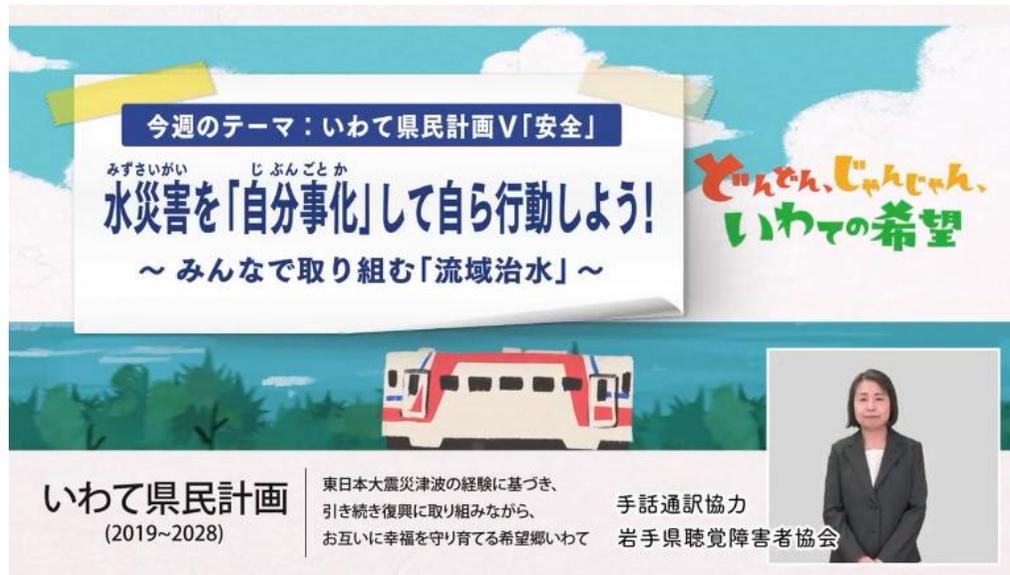
久慈川の増水時には、久慈川から沢川への逆流を防ぐために逆流防止ゲートを閉じるため、沢川の水を久慈川へ排水することができなくなり沢川で浸水被害が発生していたが、排水ポンプの整備により、ゲートを閉じた状態でも沢川の水を強制的に久慈川へ排水できるようになり、浸水被害を防ぐことができるもの。



○ 流域治水の深化・自分事化に向けた取組周知

県政番組「いわて！わんこ広報室」

令和7年6月16日～28日に放送『水災害を「自分事化」して自ら行動しよう！～みんなで取り組む「流域治水」～』
過去の放送含め、YouTube岩手県公式動画チャンネルにて公開中



パネル展示

～公共施設や集客施設における流域治水の取組の周知（河川改修事業やR6年大雨時の治水効果の説明と併せて）
令和7年度は岩手県立図書館にてパネル展と同時に、図書館所蔵資料の流域治水や水災害に関連する書籍等も連携して展示



○そのだつくしさんのマンガでダム役割、魅力をPR

- ・ 「ダムマイスター[※]」である雫石町在住の漫画家「そのだつくし」さんを、県内のダムに案内。
- ・ そのださんは、その様子をWEBで連載中のマンガ「ずったり岩手」で取り上げ、ダムの果たす役割や魅力をおもしろおかしく広く一般に発信。

▼ダム案内の様子



▼「そのだつくし」さんによるWEBマンガ「ずったり岩手」

MANGA GAI 漫画街

『ずったり岩手』祝！電子単行本37巻発売&連載700回

ずたり
岩手

36

電子単行本36巻
好評発売中！

そのだつくし

これまでのお話

- 第692話 日向ダム の巻
- 第691話 思い出地層 の巻
- 第690話 早池峰ダム の巻
- 第889話 入畑ダム の巻
- 第688話 昭和時代劇 の巻
- 第687話 クマとの遭遇 の巻
- 第686話 遠野第二ダム の巻
- 第685話 遠野ダム の巻
- 第684話 唐生ダム の巻
- 第683話 綾里川ダム の巻

↓おみくじはこちらをクリック！↓

『ずったり岩手』祝！電子単行本37巻発売&連載700回

電子単行本37巻発売
&
連載700回記念
開運おみくじ

『ずったり岩手』単行本第3巻、絶好調発売中

▼こちらからマンガ読めます！

※ ダムマイスター：広く一般の方々にダムの実態、役割、魅力などについて知って頂くため、(一財)法人日本ダム協会が適当と認めた者を任命

23

1.開催趣旨

平成28年台風第10号災害における岩泉町の河川改修事業が令和7年10月に完了したことを踏まえ、流域のあらゆる関係者の協働による流域治水の取組を深化させ、企業や住民の方々に水災害を自分事として捉えてもらうため、本県で初となる流域治水をテーマにしたシンポジウムを開催しました。

2.開催概要

日時：令和7年12月14日(日) 13時00分～15時00分
 場所：岩泉町民会館
 主催：岩手県・岩泉町流域治水協議会
 共催：流域治水オフィシャルサポーター（株吉田測量設計・株東開技術）
 形式：集合（後日youtubeアーカイブ配信）
 参加者：約160名



会場の様子

3.開催内容

- 動画「いわいずみ9年のキセキ」上映
- 基調講演
台風・大雨から大切な人の命を守る～正しい気象情報のミカタ～（気象予報士 近藤奈央）
- 取組紹介
 - ①岩手県の流域治水の取組（岩手県県土整備部技術参事兼河川課総括課長 佐々木雅章）
 - ②つながりで育む地域防災力と防災リーダー（岩泉町防災士連絡協議会 会長 鈴木悠太）
 - ③命を守れ！～次世代でつくる小学生への防災教室の実践～（岩手県立岩泉高等学校 2年 佐々木駿斗・竹花悠真）
- パネルディスカッション
激甚化・頻発化する水災害をジブンゴト化しよう～みんなで取り組む流域治水～
 【ファシリテーター】IBC岩手放送アナウンサー 神山浩樹
 岩手県県土整備部技術参事兼河川課総括課長 佐々木雅章
 【パネリスト】
 気象予報士 近藤奈央
 岩泉町防災士連絡協議会 会長 鈴木悠太
 岩手県立岩泉高等学校 2年 佐々木駿斗・竹花悠真
 国土交通省国土地理院 参事官（元岩手県県土整備部長） 中平善伸 ※WEB出演



同時開催：パネル展示



司会 IBC岩手放送アナウンサー 神山浩樹

動画上映

- 県では、平成28年台風第10号災害からの復旧・復興のため、小本川等の河川改修や国道455号の道路高上げやルート変更等の道路改良、砂防堰堤の整備を進め、発災から9年余りの歳月を経て、令和7年10月に復旧・復興事業が全て完了した。
- 令和7年6月には、ふれあいランド岩泉のリニューアルオープンと乙茂地区の河川改修工事の完成を記念して、地元小学生がサクラの苗木を植樹した。この小さな苗木が、やがて大きなサクラとなり、植樹した小学生が大人になる頃、満開の花で未来を彩ってくれることを願う。
- 平成28年台風第10号災害の記憶と教訓を後世に残し、一人でも多くの方が災害を自分事として捉えてほしいという思いを込めて動画を作成した。



岩手県沿岸広域振興局土木部
岩泉土木センター所長 藤島謙

基調講演

- 平成28年台風第10号では、岩泉町の総降水量は248mmであり、わずか2日半で8月平年(165mm)の1.5倍の雨が降った。また、岩手県は、平成28年以降も令和元年、令和4年、令和6年などに大雨が降っており、大雨が頻発している。
- 地球温暖化により、真夏日の年間日数は、1980年代に比べて直近10年間は約2倍になっており、熱中症など、暑さも災害の一つ。また、海面水温が上昇すると、台風が衰弱せず北上したり、雨雲が発達しやすくなる。今後は、近年の異常な暑さがスタンダードになり、大雨がもっと増えるかもしれない。
- 防災のキホンとして、まずは「ハザードマップ」を確認してほしい。
- 「警戒レベル」を理解しておく必要がある。大切なのは、レベル4(紫)までに全員が安全な場所に避難しておくこと。また、令和8年の出水期から、新しい防災気象情報になり、大雨や河川氾濫等の情報が各レベルに応じて発表されるようになる。
- 気象庁HP「キキクル」ではリアルタイムで地域の災害危険度を知ることができる。また、「早期注意情報(警報級の可能性)」では、5日先まで警報級の可能性を確認することができる。特に台風は比較的リードタイムが長い災害であるため、災害の心構えとして、数日前から気象庁の情報を活用してほしい。
- 「命を守るための情報」は地域で防災力を高めるためにも、家族・友人・職場の同僚などに伝えてほしい。伝えることで避難の後押しになると思う。



気象予報士 近藤奈央

取組紹介①

- 地球温暖化が進行し、平均気温が2℃上昇すると、降雨量は約1.1倍、流量は約1.2倍、洪水発生頻度は約2倍になると言われている。気候変動による水災害の激甚化・頻発化に対して、流域のあらゆる関係者が協働して流域治水を推進する必要がある。
- 小本川は全国で最も早く流域治水プロジェクトを策定された河川の一つ。昨年10月までに県内全ての水系で流域治水プロジェクトを策定し、全県に展開したところ。
- 小本川では河川整備に加えて、輪中堤や宅地高上げ、災害危険区域の指定を実施。流域治水プロジェクトの推進により、令和6年台風第5号及び令和5年台風第7号では、平成28年と同規模又は上回る総雨量を記録したが、家屋等の浸水被害を防止。



岩手県県土整備部技術参事兼河川課総括課長 佐々木雅章

取組紹介②

- 岩泉町では、防災士が地域において果たす役割は今後ますます重要になると考え、平成30年度から町をあげて防災士の養成に取り組み、平成31年1月に協議会を発足。
- 協議会の設立により、地域防災力の強化や地区自主防災活動の格差解消、防災士同士の情報共有とスキルアップ(横のつながり)などの効果がある。
- 外への情報発信により風化を防止、多職種をつなぐ実践型の研修を実施している。
- 協議会(経験世代防災リーダー)から高校生等(次世代防災リーダー)、小学生等(みらい世代防災リーダー)に横断的な防災教室を行い、それぞれの経験や思いを共有し、身近な世代から次の世代へと横軸のつながりで伝え育み、“人財”育成を実施。



岩泉町防災士連絡協議会会長 鈴木悠太

取組紹介③

- 年々防災に対する意識が減っていることから、防災に対する意識を高めるために、KIZUKIプロジェクトの中で高校生が小学生を対象にした防災教室を実施。
- 防災教室の活動をテレビや広報などの報道機関に取り上げてもらうことで、町内だけでなく県内の防災意識の向上が期待できる。
- 小学生のうちから地域の災害リスクを知り、自分事と捉え、災害が起きる前にどのように行動するかを考えることが重要。
- ジオラマ作りで参加型の内容にし、作成したジオラマで災害リスクを可視化することで、より楽しい教室になり、意欲的に取り組んでもらえた。



岩手県立岩泉高等学校2年 佐々木駿斗・竹花悠真 26

パネルディスカッション

【気象予報士 近藤奈央】

- 岩手県に台風が過去まだ3回しか上陸していないと考え方もあるが、もう3回も上陸しているとも考えられる。「まさか」が自分にも起こるといふ心の備えが必要。
- 流域治水はハザードマップに色がついている地域だけの取組ではない。災害が発生した際は、地域の方々の声の掛け合いが重要。ハザードマップの色の有無に関わらず、みんなで流域治水について考えることが大切。
- 岩泉高校の取組は他地域にも広がってほしい。教えるために自分達も勉強するため、岩泉高校の生徒は既に水災害が自分事になっている。また、小学生もより近い世代から教わることで学びの意欲が高まると思うので、相互に良い取組だと思う。

【国土交通省国土地理院参事官(元岩手県県土整備部長) 中平善伸】※WEB出演

- 小本川の流域治水プロジェクトは二級河川で中山間地域における全国のモデルケースとなるように策定しようと呼びかけた。
- 自然災害の伝承する目的は二つある。一つは、「この地域の方々に教訓を伝える（先人が遺したメッセージを時を超えて伝承）」こと。もう一つは、「地域以外の方々に『次はあなたの番ですよ』と伝える（地域の教訓を空間を超えて伝承）」こと。
- 岩手県は国土地理院地図への自然災害伝承碑の登録数が全国で断トツに多いが、その多くが沿岸に集中（津波の伝承碑）しているため、内陸の中山間地域は災害が無い（空白地帯）ように思われる。道の駅いわいずみの台風第10号の痕跡水位や安家川の橋供養塔も登録することで、過去の水害を地域内外に伝えることができるのでは。

【岩泉町防災士連絡協議会会長 鈴木悠太】

- 流域治水協議会はハード対策の話し合いの場と誤解されている印象。実際は、ソフト対策を含めた地域の流域治水の話し合いの場であるため、自分事化のために、地域から名称を募集して、もう少し柔らかいネーミングにしてもよいのでは。
- 台風シーズン前に、大雨時の行動や避難所・要配慮者の確認を地域で自然に会話しているのを見て、過年度の災害を経て、自分事化されていると感じた。マイタイムラインやコミュニティタイムラインの作成は住民が取り組める流域治水の一つ。
- 世代が近い方が教わる側の目の色が違う。災害の教訓を短い世代でバトンをつなぐことに意味があると思うので大切にしていきたいし、高校生のような次世代防災リーダーが担う役割は重要だと感じている。

【岩手県立岩泉高等学校2年 佐々木駿斗・竹花悠真】

- 「気候変動」とかはよくニュースで聞かすが、「流域治水」はあまり聞いたことがない。ニュースだけでなく、町の広報やぴーちゃんネット等の別の角度からアプローチしてみると、若い世代にも伝わるのでは。
- 自分たちの取組が色々な人に評価されて素直にうれしい。今後も岩泉町の防災意識の向上に向けて取組を続けていきたい。
- 自分で災害リスクを調べることで、災害を自分事に捉えやすくなる。また、KIZUKIプロジェクトで学んだことを来年度以降も広めて、周りにいい影響を与えていくために、取組発表の場やメディアに取り上げてもらうことを続けていきたい。

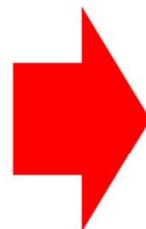


パネルディスカッション

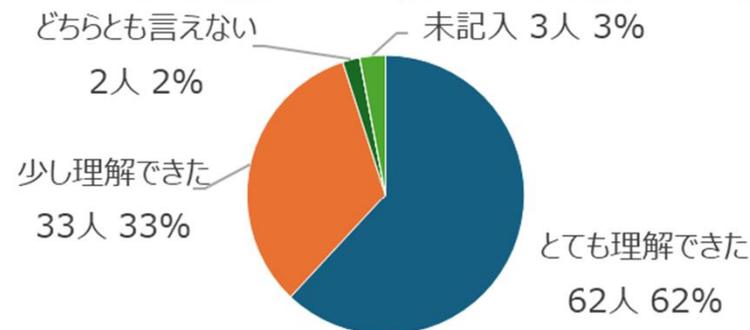
参加者アンケート結果

- シンポジウム開催前は、参加者における「流域治水」の認知度は3割程度であったが、シンポジウムの開催により、9割以上の参加者に「流域治水」について理解をしてもらうことができた。

シンポジウム開催前の流域治水の認知度について

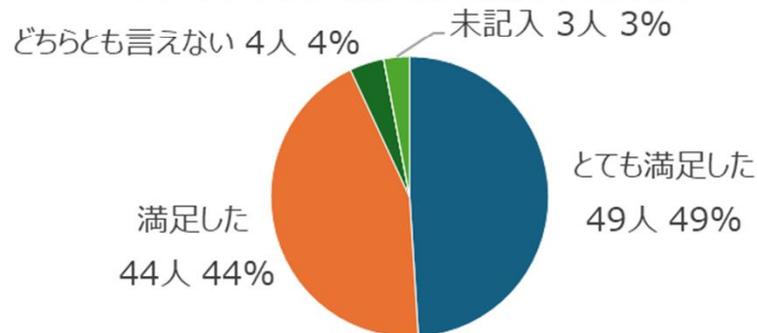


シンポジウム開催後の流域治水の理解度について



- シンポジウム参加者の9割以上の方々が「とても満足した」又は「満足した」と回答した。

シンポジウムにおける参加者の満足度



クローズトーク 出演者全員

YouTube岩手県公式動画チャンネル配信

- 本シンポジウムについては、YouTube岩手県公式動画チャンネルにてアーカイブ配信予定です。また、本シンポジウム内で上映した「いわいずみ9年のキセキ」も配信されていますので、ご覧ください。

近日
公開

